

令和元年度事業評価 課別評価シート

【総務部 総務課】

目次

- | | |
|----------------------|------|
| 1 各事業の進捗管理 | P. 1 |
| 2 【生活福祉】分野の事業の評価 | P. 2 |
| 3 【地域コミュニティ】分野の事業の評価 | P. 3 |

このシートでは、基本構想の実現に向けて、目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

評価の対象となる計画事業	
事業番号	事業名
地06-01	男女平等参画社会の推進

※事業番号は、「基本構想実施計画」に掲載している番号を使用しています

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《検討の視点》

課題の洗い出し

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度
(事業実績の推移)
- 左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方
(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
- 新規事業の必要性
- 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分

【方向性の類型】

- 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの
- 現状維持 → 事業の対象・質、コストとも変わらないもの
- 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの
- 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの
- 終了予定 → 今年度中に終了を予定しているもの
- 終了済 → 昨年度までに終了した事業

1 各事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

事業番号	事業名		中間アウトカム					
			地域コミュニティ(C)		生活福祉(B)			
地06-01	男女平等参画社会の推進							
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画	
主な取組	講演会・セミナー・グローバル推進事業	回	9	13		22	18	
	相談事業	回	週3	週3			週3	
事業費(千円)			74,320	75,475				
行政コスト(千円)			103,529			進捗の課題	無	
所要人員			3.686	4.592				
進捗の課題と改善策								

2 【生活福祉】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【総務部 総務課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	2-3 生活福祉
将来像	だれもが住み慣れたところで自立して暮らせる、セーフティネットのあるまち

中間アウトカム(B) **だれもがDVから守られ、安全な生活を送っている**

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
地06-01	男女平等参画の推進	総務課	配偶者等からの暴力が防止されている	改善・見直し	現状維持
	前回の評価結果の内容	「だれもがDVから守られ、安全な生活を送っている」を達成するためには、DVに関する知識を幅広い年代に伝えるとともに、だれもが気軽に相談できる場を提供する必要があります。今後は、DVに関する知識を伝える事業の実施や啓発カード等を配付するとともに、だれもが相談したいときに相談できるよう、相談室の相談体制の見直しや配偶者暴力相談支援センターの機能の整備を検討していきます。			
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	平成31(2019)年4月から配偶者暴力相談支援センターを開設し、相談支援機能の充実を図りました。また、DVに関する冊子の配布やセミナーを行うなど、DVに関する知識を伝える事業を実施しました。引き続き、若年層を含めたセミナー等の実施や注意喚起を行ってまいります。			
生福02-01	母子生活支援施設保護事業	生活福祉課	DV等がある母子家庭が施設での支援を受けて安全に生活を送っている		
生福03-01	女性・母子父子相談体制の充実	生活福祉課	DV被害者等が、適宜適切な相談援助を受けている		
生福03-02	母子・女性緊急一時保護事業	生活福祉課	配偶者等からの暴力被害から避難し、保護を受けている		

3 【地域コミュニティ】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【総務部 総務課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	3-1 地域コミュニティ
将来像	みんなが集う、おせっかいのまち

中間アウトカム(C)

区民が性別にかかわらず平等な立場で様々な機会に参画している

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
地06-01	男女平等参画の推進	総務課	性別にかかわらず、平等な立場で様々な機会に参画している	改善・見直し	現状維持
前回の評価結果の内容	誰もが働きやすい社会の実現と、性別(性自認及び性的指向を含む。)に起因する偏見や差別を無くし、理解を深める必要があります。今後は、男女平等参画の実現を目指して、若年層(10代等)を対象とした事業を、テーマの選定や広報の仕方を工夫して実施していきます。また、性自認及び性的指向について理解を深めるために、区民向けの映画会や講演会を実施することで、周知啓発を進めていきます。				
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	若年層を対象とした事業として、中学生や高校生向けに自分らしく生きることをテーマにワークショップを実施しました。また、性自認及び性的指向について理解を深めるための映画会や講演会を実施しました。引き続き、参加者が増えるように、広報の仕方を工夫して実施していきます。				

評価実施のチェックリスト

以下の各項目は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分